



賀

令和

新年のごあいさつ

高浜市議会議長
北川 広人

新年明けましておめでとうございます。令和2年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申しあげます。また、日ごろより市政並びに市議会に對しまして、ご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、新しく令和の時代が始まり、日本や日本人というものをあらためて意識する貴重な年になったと思います。また、スポーツ界においては、ラグビーワールドカップ2019日本大会で桜ジャパンが初のベスト8進出し、野球ではWBCプレミア12で侍ジャパンが世界一を奪取しました。さらには、高浜市出身のアスリートが国内外で活躍するなど、今年開催される東京オリンピックに向けて、大いに盛りあがった年となりました。その一方で大型台風が相次いで日本を襲い、各地で甚大な被害が出ており、いまだに数多くの方が避難生活をおくられているという状況であります。伊勢湾台風から60

年が経過したこの地方においても決して他人ごとではありませんし、南海トラフ巨大地震の近未来での発生が危惧されるなか、防災・減災は行政の大きな課題となっております。

そのようななかで、高浜市は今年12月に市制施行50周年を迎えます。あらためてわがまち高浜市を最も意識する年の一つとなることと思います。そして、次の時代に向けての第7次高浜市総合計画の策定準備も進んでいくことと思います。

市議会でも議会へのICT導入をめざし、議会運営や議員定数の見直しを議会改革の柱として取りあげて議論を進めてまいります。議会をさらに進化させて、市民の皆さまの目に見える改革をめざしたいと考えております。そして、最も重要な職務である「均衡と牽制の原理」を理解しつつ、行政を監視するために、今後議員一人ひとりが研鑽を深め、個々の議員の資質向上はもちろんのこと、議会全体の資質向上をしてまいります。ご期待をいただきたいと思います。

最後になりますが、この一年が健やかで幸せな年でありますように心からご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。